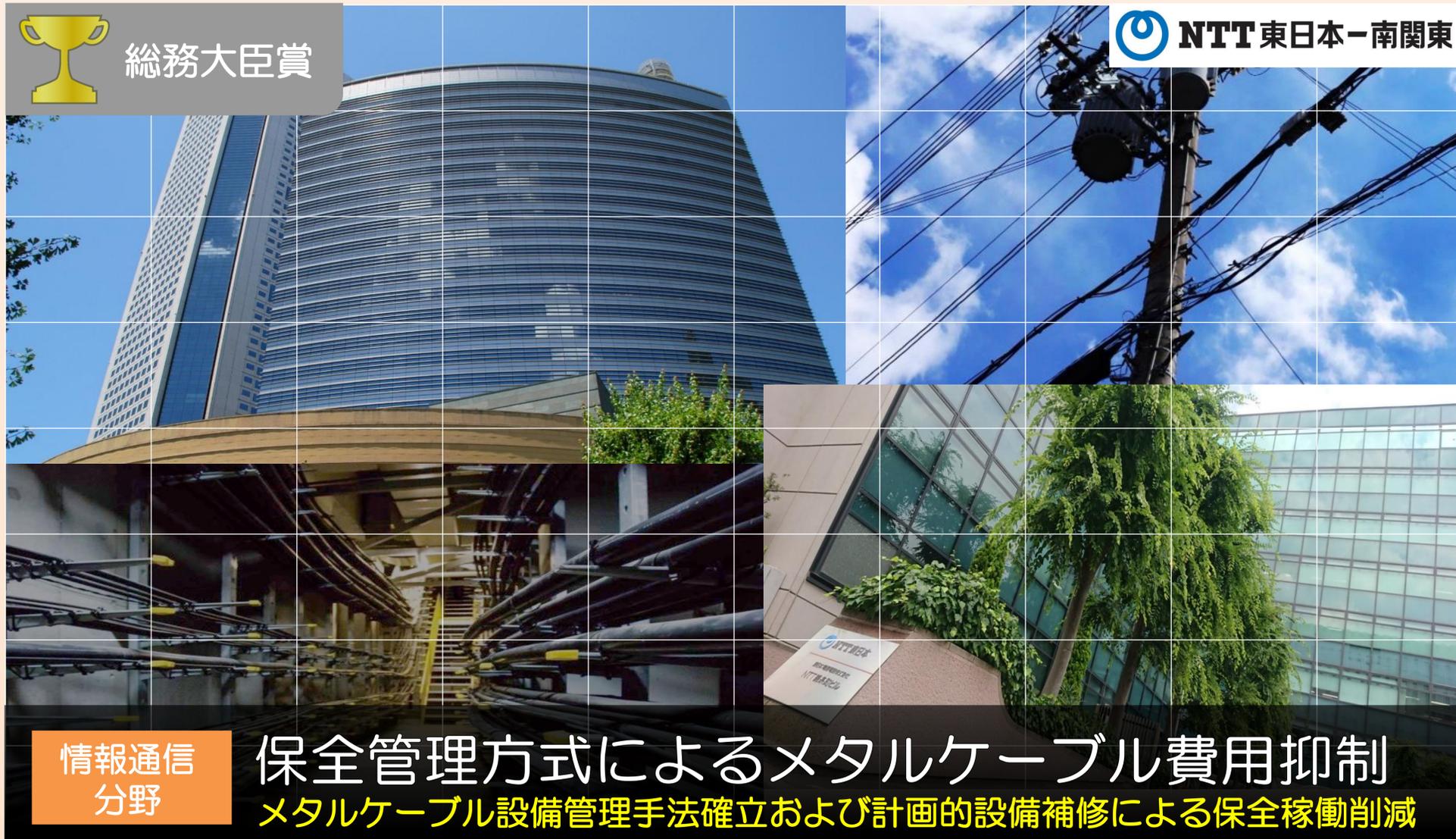




総務大臣賞



情報通信  
分野

## 保全管理方式によるメタルケーブル費用抑制

メタルケーブル設備管理手法確立および計画的設備補修による保全稼働削減

### 取組概要

オンサイトではメタル設備補修が部分的な事後対応となっており、多くの保守稼働を費やしている。一方、設備管理・保全計画策定ノウハウが希薄化し、計画的補修が困難な状況である。今回、メタルケーブル補修の優先順位付け・費用対効果算出・不良設備提案等の業務を標準化し「保全管理方式」を新たに展開する事で計画的な「ルート補修工事化」を可能とした。

### 受賞理由

重要な社会インフラであるメタルケーブルについて、事後対応的な設備補修への対策として、過去の故障履歴データ等に基づくアプローチに加え、費用対効果算出を行った上でのコスト面も考慮した優先順位付けを行った点と、それを標準化し社内ルール化することで、社員の個人的なノウハウに依存しない安定的な保守管理体制を構築した点が評価された。

### 取組のポイント

1. 架空メタルケーブル不良心線探索優先順位付け手法の確立  
架空メタルケーブル心線の使用率、過去の故障傾向を分岐線路単位に管理し心線枯渇時期を予測する手法を新たに確立、心線枯渇時期の早いものから探索し故障箇所を特定した上で修理または工事化提案することをルール化した。
2. 地下メタル不安定ケーブルの優先順位付け手法の確立  
社内システムである「ガス圧遠隔監視システム」の機能を活用し、圧力と流量、過去の故障履歴データから対処すべき不安定ケーブルの優先順位付けを行い、具体的対処方法を導き出す手法を新たに確立した。



### 受賞者について



#### 受賞者

株式会社NTT東日本-南関東  
牧野 悟 / 吉田 健一 / 山下 祐二 / 川村 拓巳 /  
二瓶 航 / 白坂 祐二  
株式会社NTT東日本-北海道  
木村 悌

#### コメント

この度は、大変名誉な賞をいただき光栄に存じます。NTTグループの地域通信網を保守する為、ベテラン社員のノウハウを結集し、効率的かつ有効な保全方針・管理方法を確立するとともに、後世に残せる知識として体系化するために検討を重ねてきました。今後も通信網保守の現場に役立つ成果をあげていきたいと思っております。

#### 団体概要

電気通信サービスに携わる企業として通信媒体の故障予防に努め、万一の故障発生の際には早期サービス回復に向けて尽力しています。通信設備保守の現場作業の効率化に務めると共に、これからもお客様に快適な通信サービスを提供できるよう努めてまいります。

#### 問い合わせ先

株式会社NTT東日本-南関東  
サービスサポート部 アクセスサポートセンター  
アクセス運営企画部門 運営推進担当  
03-5819-0741